

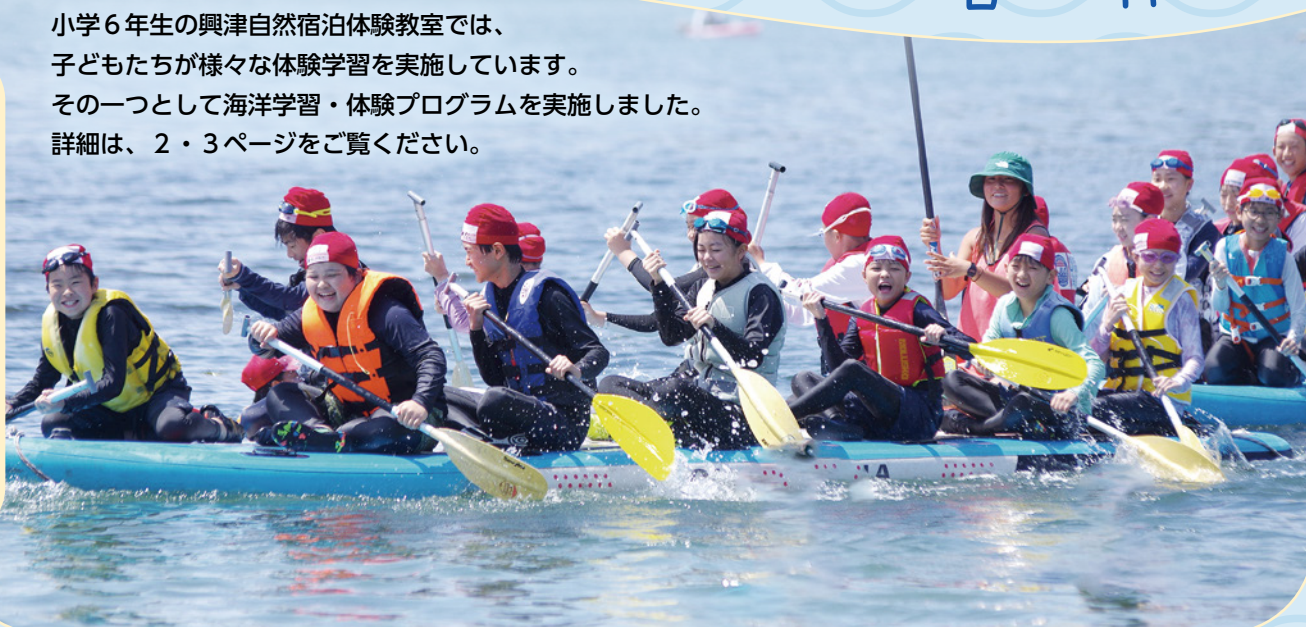


探せ、海の生き物

波静かな興津海水浴場で 海と触れ合い体験

小学6年生の興津自然宿泊体験教室では、子どもたちが様々な体験学習を実施しています。その一つとして海洋学習・体験プログラムを実施しました。詳細は、2・3ページをご覧ください。

息を合わせてこぐ



主な内容

- 2・3ページ 興津自然宿泊体験教室
- 4ページ コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を推進
- 5ページ 全国学力・学習状況調査と目黒区学習状況調査の結果

興津自然宿泊体験教室

子どもたちが「藍染めやハイキングなどの自然体験」や「飯ごう炊さん」、「磯観察」、「拾った貝を使ったクラフト作り」など様々な体験学習を行っています。令和5年度からは海とのつながりを実感する体験として、「漁港のお仕事体験」や「海洋学習フォトテレーリング(※1)」などを実施しています。

7月3日に碑小学校6年生が、「海洋学習・体験プログラム」を行いました。その様子を紹介します。

※1 海洋学習フォトテレーリング：地図に載っている写真の場所を探し、その場所で出題されるクイズやミッションにチームで挑戦しながら海や自然環境を学びます。

興津自然学園の紹介

目黒区の施設で、区立小学校6年生が興津自然宿泊体験教室を行う際の宿泊施設です。学園は、子どもたちが様々な体験学習を行う学びの場、活動拠点として活用しています。



問い合わせ 学校運営課(☎ 03-5722-9310 FAX 03-5722-9333)

「海とのつながり」海洋学習・体験プログラム

1 興津海水浴場に到着



興津自然学園から10分ほど歩いて、興津海水浴場に到着。まずライフセーバー、インストラクターの方々とあいさつです。その後ライフジャケットの着用方法を学びました。

2 海の安全教室



2人1組で、少しずつ海水や打ち寄せる波の感覚に慣れていきます。落水時に身を守るための方法や、溺れている人を発見した際の対応方法も学びます。海水温が低い中での活動でしたが、子どもたちは元気な声を上げていました。

3 SUP体験



ボードに乗ってパドルでこぎ、水面を進むマリンスポーツSUP体験では、13人乗れるメガサップを使用します。最後は、SUPで綱引き大会。冷たい海水に悲鳴を上げていた子どもたちの声が大歓声に変わりました。

4 記念撮影と閉会式



ライフセーバーやインストラクターの方々と一緒に記念撮影。閉会式では、習ったことをおさらいして、お世話になった方々にお礼のあいさつをしました。

＼子どもたちの感想／



みんなで水を掛け合い、協力してSUPをこぐのが楽しかったです。今度は家族とも一緒に来たいです。

海を体験するのは初めてで、怖いと思っていましたが、ライフジャケットがあったので安全に楽しく学ぶことができました。



＼校長先生の感想／



碑小学校 大塚晋一校長

小学生のうちに実際に海で学習することが、子どもたちにとっても大きな財産になると思っています。学校だけではなかなか子どもたちに海での体験をさせるのは難しいので、プロの方々にご協力いただいたおかげで安心して実施することができました。

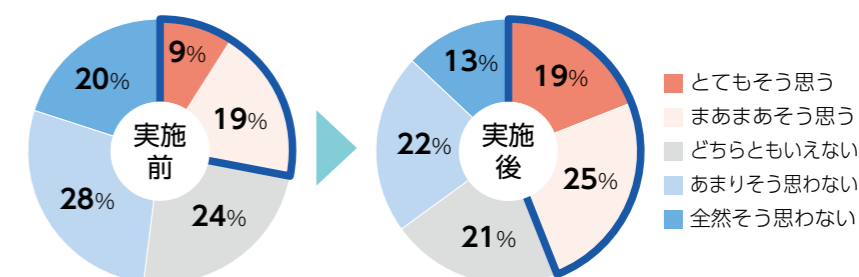
海の安全と楽しみ方についての学びと体験

海の安全教室では、海での危険なことを学び、そのうえで安全に楽しむ方法を学習しました。SUP(※2)体験では、チームごとボードを反対方向にこぐ綱引きにも挑戦し、白熱した試合を繰り広げました。

他にも、海藻や磯の生物を観察したり、海水のしょっぱさを知ったり、五感を使って豊かな海を満喫しました。 ※2 SUP：サップ。スタンド・アップ・パドルボードの略称

連携事業者によるアンケート結果

令和5年度から、延べ約3,500人(うち目黒区民約1,300人)の児童に体験プログラムの前と後で、アンケートを実施したところ、「Q. 自分にとって海は身近だと思う」という問いに対し、そう思う人の割合が上昇し、全然そう思わない人が減少しました。



興津自然宿泊体験教室での「海の安全教室とSUP体験」は、日本財団「海と日本プロジェクト」(総合海洋政策本部、国土交通省)、一般社団法人次世代価値コンソーシアム、アクトインディ株式会社の協力を得て実施しています。

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を 一体的に推進していきます

「地域とともにある学校づくり」を目指して、令和7年4月に、原町小学校、不動小学校、第一中学校を先行実施校として学校運営協議会を設置しました。

学校運営協議会と 地域学校協働活動がスタート

各校では学校運営協議会が開催され、会長の互選、学校長からの学校経営方針の説明等が行われました。授業等の参観や学校の現状分析等を実施し、学校の課題や児童・生徒の様子について活発に意見交換をしています。

また、「学校を核とした地域づくり」を推進するため、地域応援団による地域学校協働活動を一体的に推進しています。先行実施校では、新たに任命された6名の地域コーディネーターが活躍しています。



▲学校運営協議会の様子(第一中学校)



▲授業参観の様子(第一中学校)



▲学校運営協議会の様子(原町小学校)



▲地域応援団と地域が連携した活動の様子(不動小学校)

子どもたちをまんやかに

学校と地域の絆を深める活動に参加してみませんか

1 コミュニティ・ スクールって何？

学校運営協議会を設置した学校のことです。学校と保護者や地域住民がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映する仕組みです。

2 地域学校協働活動とは？

幅広い地域住民等の参加を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して地域と学校がパートナーとして連携・協働して行う様々な活動のことです。

3 学校運営協議会では何をするの？

主な役割は、校・園長が作成する学校運営の基本方針を承認すること、学校運営に必要な支援について検討し教育委員会や学校・園へ意見をすることなどです。委員は、保護者や地域住民など、1校につき6～10人で構成されています。

4 地域コーディネーターは何をする人？

地域住民等と学校との連絡調整等を行う地域学校協働活動推進員のことです。社会教育法に基づき教育委員会が委嘱します。

今後の設置予定

令和9年度までに半数の区立学校・園に学校運営協議会を設置し、令和11年度までに全ての区立学校・園に設置することを目標としています。

令和8年度に設置予定の学校・園

菅刈小学校、下目黒小学校、中目黒小学校、五本木小学校、月光原小学校、中根小学校、東山中学校、げっこうはらこども園

令和7年度 全国学力・学習状況調査と 目黒区学習状況調査の結果

全国学力・学習状況調査

児童・生徒の学力や学習状況を把握するために、文部科学省が実施しています。調査対象は、小学校第6学年と中学校第3学年です。4月17日に実施した調査結果の概要をお知らせします。

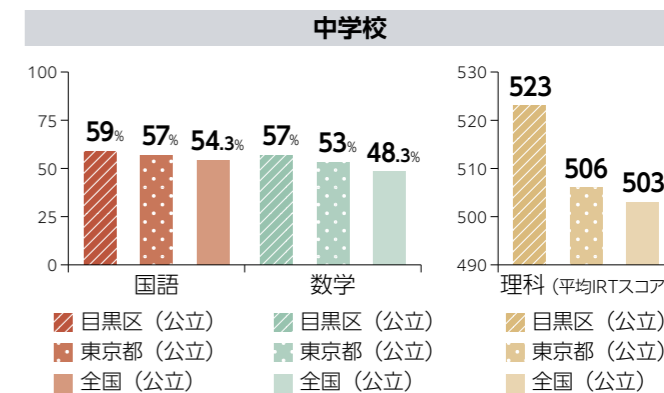
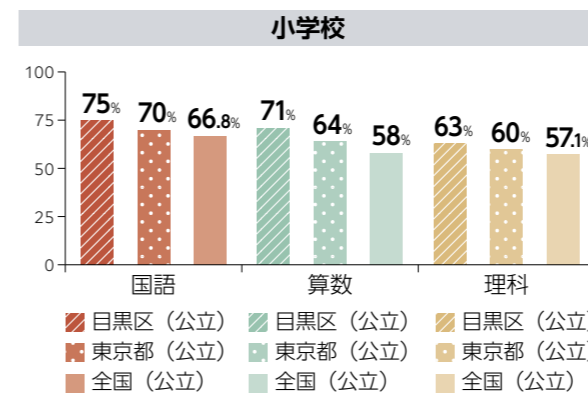
教科に関する調査結果

目黒区の平均正答率^(※1)やIRTスコア^(※2)は、小・中学校ともに、調査した全教科において、全国平均・東京都平均を上回りました。今後も「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を進め、目黒区立学校の児童・生徒の学力向上を図っていきます。

※1 平均正答率：国語、算数・数学の平均正答率は、それぞれの平均正答数を設問数で割った値の百分率(概数)。文部科学省の発表に基づき、全国平均正答率は小数第1位までを示し、東京都及び目黒区の平均正答率は小数点以下を四捨五入した結果を示している。

※2 IRTスコア：IRTとは 国際的な学力調査や英語資格・検定資格で採用されているテスト理論。IRTスコアとは、このIRTに基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表すもの。数値が高いほど、学力が高いとされる。今回の調査では中学校理科が本方式で調査を実施した。

平均正答率の比較



目黒区学習状況調査

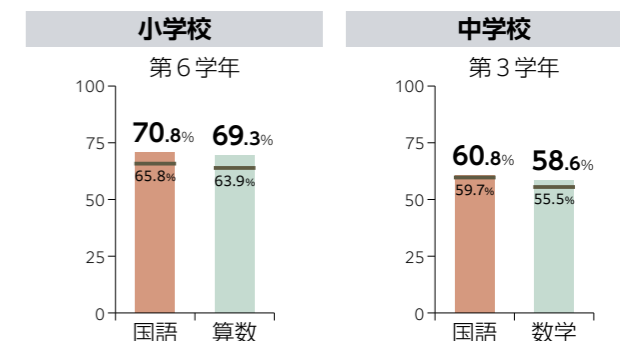
昨年と同様、小学校第6学年及び中学校第3学年は5月12日から6月6日までの間で学校が指定した日にオンライン方式で、小学校第1学年を除くそれ以外の学年は4月23日に筆記方式で実施しました。調査結果は、小・中学校ともに、対象の全学年・全ての教科において全国平均正答率を上回りました。特に、国語の区平均正答率は、小学校第4・5学年で共に7.8ポイント、数学の区平均正答率は、中学校第2学年では10.3ポイント、全国平均正答率を上回っていました。

※——は全国平均正答率を示しています。

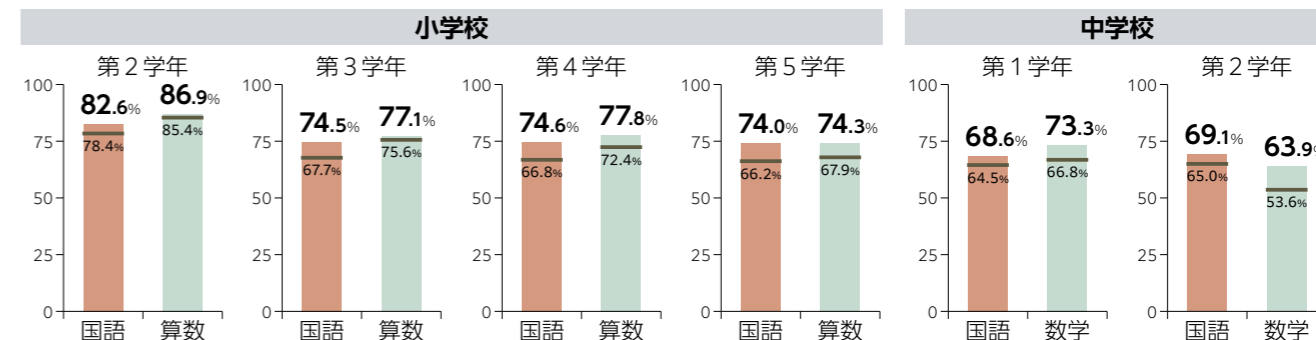


調査結果を踏まえ、ICT機器も活用しながら授業の工夫・改善を図っていきます。

平均正答率(オンライン方式)



平均正答率(筆記方式)



向原小学校の新校舎建設を進めています

令和3年3月に策定した目黒区学校施設更新計画に基づき、学校更新の1校目として、令和4年度から向原小学校の建て替えに取り組んでいます。

令和7年5月末に既存校舎の解体工事が完了し、新校舎の建設については、昨今の建設業界の人手不足の影響等による2度の入札不調を経て、当初の予定から約2カ月遅れて、9月から着手しました。完成時期は、令和9年9月末を予定しています。なお、新校舎完成後、仮設校舎及び既存の屋内運動場棟を解体して、校庭整備に着手する予定です。



詳細はこちら



▲既存校舎解体工事終了後の様子



▲新校舎のイメージ

鷹番小学校新校舎の基本設計を策定しました

令和7年5月に基本構想を策定し、その後建物概要や平面計画・断面計画等の条件整理を行い、8月下旬に実施した住民説明会を経て、10月に「目黒区立鷹番小学校等複合施設基本設計」を策定しました。

現在は基本設計をもとに、実施設計を進めており、令和8年9月頃に策定予定です。



詳細はこちら



▲新校舎のイメージ

※新校舎は現段階のイメージ図です。今後の検討により変更の可能性あり

問い合わせ 学校施設計画課(☎ 03-5722-9307 FAX 03-5722-9333)

目黒南・目黒西中学校新校舎の実施設計を策定しました

令和6年8月に策定した基本設計に基づき、新校舎の建設工事に向けて詳細な検討を行い、令和7年4月に「目黒区立目黒南中学校新校舎実施設計」、「目黒区立目黒西中学校新校舎実施設計」を策定しました。

また、統合に伴い閉校となった旧第九中学校及び旧第十一中学校の校舎について、現在、解体工事を行っています。

なお、新校舎建設について、入札を実施しましたが、昨今の建設業界の人手不足の影響等により、両校ともに入札不調となったため、新校舎への移転時期については、目黒南中学校が令和11年4月以降、目黒西中学校が令和12年4月以降となる予定です。



目黒南中学校

詳細はこちら



目黒西中学校

下目黒小学校の建て替えに取り組んでいます

下目黒小学校の建て替えは、区民センター整備事業において一体的に進める予定でしたが、区民センター整備事業が中止・再検討となったことに伴い、児童及び保護者ならびに周辺住民などへの影響を考慮した結果、区民センター整備事業と切り離し、単独の事業として、当初の想定スケジュールどおり建て替えを進めることにしました。

また、建て替え工事期間中は、現めぐろ学校サポートセンターを仮校舎として活用します。仮校舎の整備については、令和7年8月に策定した基本設計をもとに、実施設計に取り組んでいます。



詳細はこちら

建て替えのスケジュール

名称	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度
下目黒小学校			設計			解体・新築工事			新校舎運用
めぐろ学校サポートセンター(仮校舎)	設計		整備工事					仮校舎運用	

※スケジュールは今後の状況により、変更の可能性あり

めぐろ学校サポートセンターは移転します

めぐろ学校サポートセンターは、令和8年4月に中目黒スクエアに移転します。

学習・相談のサポートをご利用ください

めぐろ学校サポートセンターは、教育相談や学習支援教室「めぐろエミール」を運営しています。教育相談は、学習や生活などの相談を、来室あるいは電話でお受けしています。

また、学習支援教室「めぐろエミール」は、学校を休みがちなお子さんを対象に学習や生活の支援を行っています。



教育相談の詳細はこちら▶

【所在地】
令和8年3月まで
中目黒3-6-10

令和8年4月から
中目黒2-10-13 中目黒スクエア内

▲相談室の様子

問い合わせ めぐろ学校サポートセンター(☎ 03-3715-1531 FAX 03-3715-2846)

めぐろ歴史資料館企画展

昔のくらしと道具展

開館初年度の「昔のくらしと道具展」に立ち寄り、過去5年の企画展より広範囲の道具を紹介します。

また、過去にご好評いただいた体験イベント「氷式冷蔵庫を使ってみよう」と「レコードを再生してみよう」を開催します。



詳細はこちら

会期 令和8年1月25日(日)まで

休館日

月曜日。1月12日は開館し、翌日休館。
12月29日～1月3日

時間 9:30～17:00

会場 めぐろ歴史資料館
(中目黒3-6-10)



レコード盤に
針を置くことで
再生する
手回しの蓄音機

入場
無料



◀電気を使わず
上の段に氷を
入れ、下の段
で食品を冷や
す氷式冷蔵庫

問い合わせ めぐろ歴史資料館(☎ 03-3715-3571 FAX 03-3715-1325)

子どもたちの悩みに寄り添います めぐろそうだんポスト

子どもたちの悩みは多様化しており、解決が難しい問題に直面しながらも、なかなか相談できずに深刻化してしまう状況があります。

「めぐろそうだんポスト」は、区立学校に通う児童・生徒一人ひとりに配付している学習用情報端末から相談を受け付けています。ウェブ上のアンケートフォームを用いて、大まかな相談内容や話を聞いてほしい人を選ぶようにしています。めぐろ学校サポートセンターでは、受付後、学校や関係機関と連携して、相談に応じます。



警備員を運動会・体育祭に配置しています

区立学校・園が行う運動会・体育祭や中学校連合体育大会に委託による警備員を配置しています。子どもたちや保護者の安全確保、不審者・不審物の確認および対応などを行います。



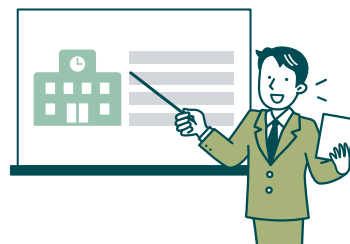
▲中学校連合体育大会の出入口で警備員を配置
(駒沢オリンピック公園総合運動場)

問い合わせ 教育政策課
(☎ 03-5722-9243 FAX 03-5722-9332)

教育施策説明会

区の主要な教育施策に関する説明会を開催します。各施策の担当者が直接区民の皆さんに説明し、ご質問等をお受けします。ぜひ会場へお越しください。

あわせて、オンラインでもご意見等を募集します。「令和7年度教育施策に関する説明動画」をご視聴のうえ、アンケートフォームによりお寄せください。



教育施策説明会

日時 12月14日(日) 10:00~12:00

会場 総合庁舎本館2階 大会議室

内容 「令和7年度教育施策に関する説明動画」と同じ説明と質疑応答

説明動画

配信方法 「目黒区公式YouTubeチャンネルめぐろTV」で公開

※5月から公開している説明動画は、下記3項目の一部内容を更新しました。

- 学校施設の計画的な更新
- 不登校児童・生徒への取組
- 図書館サービスの充実

意見募集期間 12月21日(日)まで



詳細はこちら

問い合わせ 教育政策課(☎ 03-5722-9432 FAX 03-5722-9332)

教育長の就任

令和7年10月1日付けで区長から新教育長として高橋和人氏が任命されました。任期は令和10年9月30日までです。

教育を取り巻く環境は刻々と変化しています。国における次期学習指導要領の改訂に向けた議論も踏まえながら、子どもたち一人ひとりがその能力を開花させ、自立して成長していくための学校教育をさらに進めていく必要があります。生涯学習においては、区民の皆様が世代を超えて学びや交流を深め豊かな人生を送ることのできる環境づくりが重要です。

また、学校は子どもたちの大切な学び舎であると同時に、地域コミュニティの核となる施設でもあります。地域に開かれた学校づくりを進めながら、学校・保護者・地域が手を携えて子どもたちを育てる気運をさらに広げてまいりたいと考えております。皆様の温かいご支援とご協力をよろしくお願いいたします。



教育長 たかはし かずと 高橋 和人

教育委員の紹介

令和7年10月1日付けで区長から新委員として小枝義典氏が任命されました。任期は令和11年9月30日までです。

また、教育長職務代行者に若井田正文氏が就任しました。

教育委員会の構成

- ・高橋 和人(教育長)
- ・若井田 正文(教育長職務代行者)
- ・松村 眞理子(委員)
- ・高橋 智佳子(委員)
- ・小枝 義典(委員)



委員 こえだ よしのり 小枝 義典

問い合わせ 教育政策課(☎ 03-5722-9300 FAX 03-5722-9332)

編集・発行 目黒区教育委員会

〒153-8573 目黒区上目黒2-19-15

☎ 03-5722-9432 FAX 03-5722-9332

●次の発行は令和8年4月1日の予定です。



◀区ウェブサイト